

## Application

## 近所で探すサステナビリティ

サステナブルな生活に興味があるが、何をしたら良いかわからない。そんな方は、是非アプリから始めてみてはいかがだろうか。

人や地球に優しいお店と出会える無料の地図アプリ「mamoru」には、現在、オーガニックやゼロウェイスト、フェアトレード、セカンドハンド、エシカルなど、サステナビリティに焦点を当てた19のカテゴリーのお店が700カ所以上掲載されている（※2021年7月時点）。

きっと、普段知る機会がなかった体験やモノに出会えるだろう。

自宅や職場、外出先など、街あるきの際にはこのアプリを開き、サステナブルな街あるきを楽しんでみたい。



mamoru  
<https://www.mamoru.earth/?lang=ja>

## Tool

## 地球温暖化をより深く学べる教材

地球温暖化についてより深く学びたい方に、全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）では、学校教育や各種研修、イベント等の活動で活かせる数十種類もの展示物や参加型学習プログラムを無料で貸出ししている。

例えば、「持てるかな? ~エネルギーのかばん~」は、国民一人が1日に使用するエネルギーの消費量が入っているバッグを持ち上げ、その重さを体感し、重さの理由をクイズなどで解き明かしていくプログラム。私達が身のまわりで消費するエネルギーを知り、エネルギーとの今後の付き合い方を考えることができる。

世界でもトップクラスのエネルギー消費国である日本。プログラムを通じて、私たちの暮らしを今一度見直したい。

「持てるかな? ~エネルギーのかばん~」

[https://www.jccca.org/rental\\_item/13728](https://www.jccca.org/rental_item/13728)  
全国地球温暖化防止活動推進センター  
お役立ちツール一覧  
<https://www.jccca.org/oyakudachi>



## Book

## オーストリアに学ぶ エネルギー自立と持続可能な地域づくり

全国の自治体が次々と2050年二酸化炭素排出実質ゼロを表明している。これからは、いかにしてそのビジョンを達成するかが問われている。

本書は、オーストリアにおける、エネルギーを介した社会の大転換への挑戦とその仕組みを、6年にわたる現地調査をもとに徹底解明している。

原子力発電にNOを打ち出し、再生可能エネルギーの導入を進めるオーストリア。

政治・行政が明確なビジョンを持ち市民参画とパートナーシップを前提として自治体をベースに持続可能な地域づくりに包括的に取り組む。

山岳地帯の割合が高く条件不利地域の農村が多いなど、日本との地理的共通性も多いという。そのヒントを是非学びたい。

『エネルギー自立と持続可能な地域づくり』  
的場 信敬、平岡 俊一、上園 昌武（編集）  
昭和堂（2021年2月）  
本体価格3,000円+税  
<http://www.showado-kyoto.jp/book/b554016.html>



## Book

## 地球温暖化を「逆転」させる、注目の一冊

温暖化による不安が広がる中で、190人の研究者、専門家、科学者の国際的なグループが結集し、地球温暖化を「逆転」させる具体的な解決策をまとめた本が出版された。食品の生産と消費、再生可能エネルギー、環境保全型農業、電気自動車、教育、水、森林、ネットゼロエネルギービルのほか、まだ耳にしたこともないような革新的な技術も紹介されている。その中でも、より実効性がある方法はなにか、なにを優先すべきなのか、そのコストと効果にも言及しているのが大きな特徴だ。

現状を変えていく方法を見つけるための参考書として、様々な立場の方に手に取って頂きたい一冊だ。



『ドローダウン 地球温暖化を逆転させる100の方法』

著者 ポール・ホーケン（編著）、江守 正多（監訳）、東出 顕子（訳）  
山と溪谷社（2020年12月）  
税込価格 3,080円